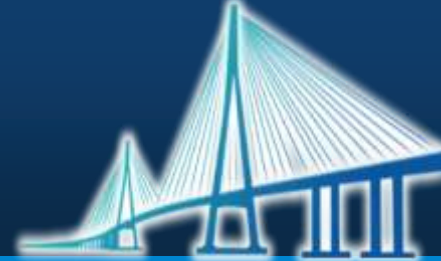


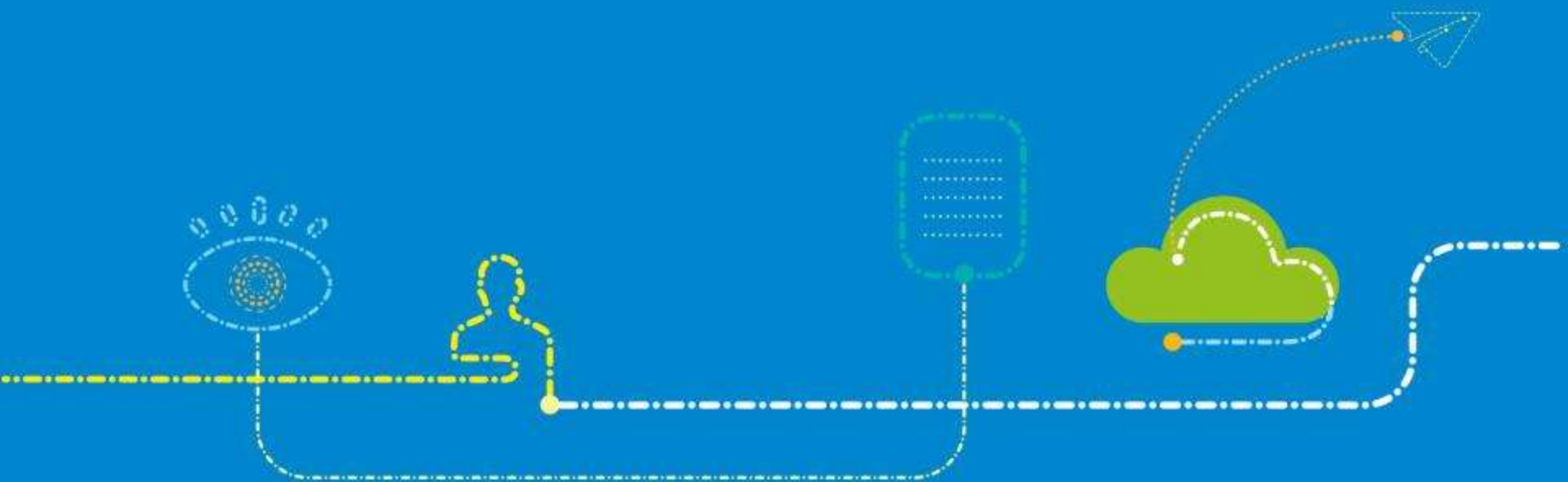
南通經濟技術開發區 IDC產業のご紹介



南通經濟技術開發區管理委員會



南通国際データセンター産業園



位置づけ



位置付け鳥瞰図



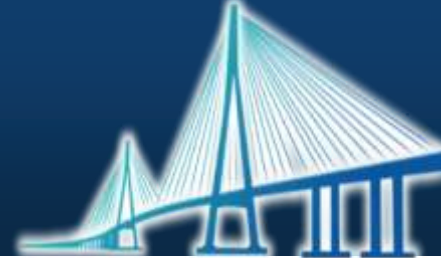
基本データ



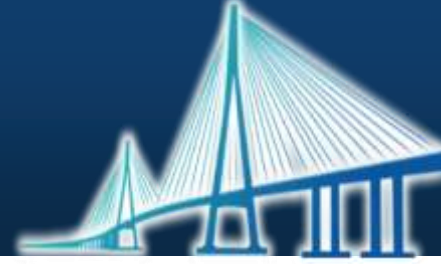
- ・ 土地面積が20万m²ぐらい
- ・ 建築済みの面積が22.5万m²
- ・ 1.5万個の標準キャビネットが
- ・ 建設可能
- ・ 地耐力1000KG-1500KG
- ・ 一基の220kvの変電所を批准された座
- ・ フルロード12万kw



現場の写真



立地メリット：位置付けメリット



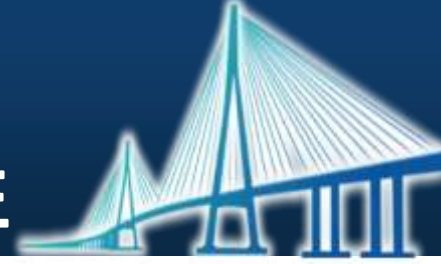
- 1、交通便利：南通は上海、南京、杭州の中間位置にして、交通がとても便利である。高速鉄道がまもなく開通しますが、上海まで30分になって、顧客の見学と立地選択に対しては、便利である。
- 2、能達CBDの隣に：幾つかの国際国内でも有名なショッピングモールが進出済みで、若者に対して、様々な生活セット施設が完璧になって、就職も穏やかになると思う。
- 3、総合保税区の中に位置する(セキュリティ条件が良い)

立地メリット：安全な環境

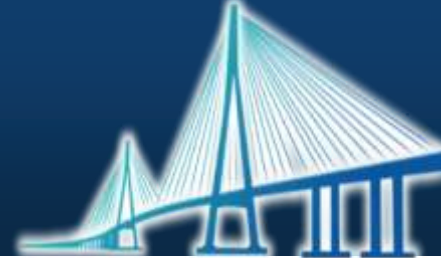


- 1、地震：南通は地震帯に位置していません。
- 2、津波：南通は沖積平野に位置し、津波のことがありません。
- 3、台風：南通の独特な位置づけの関係で、歴史上では台風が当陸したことが少ないで、更に立地は海から100キロの距離があり、台風が当陸してもあまり影響を与えません。
- 4、洪水：南通は長江が海に入り口に位置して、十キロ以上の広さで、洪水の可能性がないと思ひ、立地は通啓運河に近く、排水が便利で、嵐の天気でも洪水を発生しません。

立地メリット： 発電能力と安定性



- 1、 220kvの双回路変電所を計画済みで、工事期間が10ヶ月である。
- 2、 プロジェクトの一期投資に向ける10kv変電所をこれから建設し始めて、工事期間が2ヶ月である。
- 3、 備用の発電機はガス発電エンジンを採用する。



- 1、データの国際出口
- 2、上海と同じ都市間のインターネットサービス

立地メリット：省エネ対策



1. モジュール方式の設計を採用し、階段別投入し、屈伸性の展開にする。
2. 直線距離の500から700メートルの長江水を直接に導入して水循環冷却方式を採用する。
3. 高圧直流電の省エネ技術
4. パーティションで区切て、エネルギーの消費を下げる。
5. 動力設備と環境変量の知能なスーパバイザリーコントロールの優れた対策。

PUEは1.3に下げる可能です。



1. 直接大工業電気を提供し、一般のデータセンターより電気代のコストの20%が下げられる。
2. PUEは1.3まで下げて、一般のデータセンターより電力の消費は20%が節約できる。
3. 総合保税区の税収対策に従って、プロジェクトの建設投資は15%ぐらい下げられる。
4. 現在の20万平米の工場では、段階別のリース方式が採用できる。プロジェクトの起動を早めにして、将来は十分な展開空間を用意する。

園区で主の業務内容



1. データセンターのリースサービス
 - インターネットLANのリースサービス: 単線、双線、三線、BGP
 - データのリースサービス: キャビネットのリース、サーバのリース
 - インターネット設備のリースサービス: 設備のリース、ファイアウォールのリース、ロードバランシングのリース、データのバックアップとリストア。
2. クラウド業務
 - 例えば: Windows Azure, Office 365等
 - 計算用クラウド: 各研究所、大学、金融機構等の
 - 総合クラウド
3. 公共クラウド業務
 - 政務クラウド
 - 金融クラウド
 - 教育クラウド
 - 医療クラウド

園區の建設と運営方案



- ・ データセンターの総合請負業者からプロジェクトの企画、建設、誘致を担当し、通信オペレータ、設備メーカ、ソフトウェア開発者、データセンターのオペレータ、データアプリケーションのコモンキャリアに“直接進出”の経営環境を提供する。